

# どじょうやハクチョウとの共生による 大規模な米づくり

—生物多様性保全機能—

## 農事組合法人 ファーム宇賀荘<sup>うかしょう</sup>



冬期湛水の水田で休む  
コハクチョウ

安来市宇賀荘地区は、昔ながらの土水路が残っており、メダカやドジョウ等が多く生息している。このような地域の豊かな自然を事業実施により壊すことがないように、平成13年度より生態系保全型水田整備推進事業を導入し、生態系に配慮した工法の検討を行い、魚巣ブロック等による環境づくりに努めた。また、営農組合時から化学合成農薬・化学肥料削減栽培等環境に優しい農業に取り組んでいる。



やすぎ  
島根県安来市



どじょう米

### 〔生物多様性の保全、伝統文化の継承〕

約10haの水田に地域の特産であるどじょうを放流し、無農薬・無化学肥料で水稻を栽培している。また、この水田では雑草抑制の目的で冬期湛水を実施しており、毎年1,000羽を越えるコハクチョウが飛来・越冬するなど、一年を通して生きものと共生した米作りを行っている。

作ったお米は地域の伝統文化である「どじょうすくいのお来節」のイラストを描いたパッケージで、その名も「どじょう米」として販売している。

### 〔体験学習と教育〕

地域住民を対象に生きもの調査等の環境学習会を実施し、自然環境保全に対する意識の啓発・醸成を図っている。

また、毎年春と秋に「宇賀荘ふれあい祭り」を開催し、どじょうの放流や田植え、稲刈り等を通じて消費者との交流を積極的に実施している。



幹線排水路に設置したビオトープ



どじょうの放流



田植え体験



稲刈り体験



生きもの調査